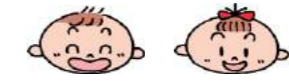




乳幼児期に受ける予防接種の一覧



令和2年10月

種別		接種対象年齢	標準接種年齢	回数	方法・内容等			
定期接種 (公費)	集団	BCG ※1	生後1歳に至るまで	生後5～8か月	1回 月1回定例実施 ※居住区外の保健福祉センターでも接種可			
	個別接種	B型肝炎	生後1歳に至るまで※2	生後2～9か月	3回	27日以上の間隔をあけて2回接種後、1回目の接種から139日以上の間隔をあけて1回接種		
		ロタウイルス (いずれかを選択)	ロタリックス	出生6週0日後～24週0日後	初回接種は生後2か月～14週6日後まで	2回	27日以上の間隔をあけて2回接種	
			ロタテック	出生6週0日後～32週0日後		3回	27日以上の間隔をあけて3回接種	
		ヒブ (インフルエンザ菌b型)	接種開始年齢	生後2～7か月に至るまで	接種開始年齢 生後2～7か月	4回	27(20)日以上の間隔をあけて3回接種後、7か月以上の間隔をあけて1回接種	
				生後7～12か月に至るまで		3回	27(20)日以上の間隔をあけて2回接種後、7か月以上の間隔をあけて1回接種	
				生後12～60か月に至るまで		1回	1回接種で完了	
		小児用肺炎球菌	接種開始年齢	生後2～7か月に至るまで	接種開始年齢 生後2～7か月 (追加接種は12～15か月)	4回	27日以上の間隔をあけて3回接種後、60日以上の間隔をあけて、かつ1歳以降に1回接種	
				生後7～12か月に至るまで		3回	27日以上の間隔をあけて2回接種後、60日以上の間隔をあけて、かつ1歳以降に1回接種	
				生後12～24か月に至るまで		2回	60日以上の間隔をあけて2回接種	
				生後24～60か月に至るまで		1回	1回接種で完了	
		DPT-IPV4種混合 (ジフテリア・百日せき・破傷風・ポリオ)	1期初回	生後3～90か月に至るまで	生後3～12か月	3回	20日以上の間隔をあけて3回接種	
			1期追加			初回終了後、12～18か月	1回	1期初回(3回)終了後、6か月以上の間隔をあけて1回接種
		4種混合又は	DPT (ジフテリア・百日せき・破傷風)	1期初回	生後3～90か月に至るまで	生後3～12か月	3回	20日以上の間隔をあけて3回接種
				1期追加			初回終了後、12～18か月	1回
			ポリオ ※平成24年9月1日から不活化に変更	初回	生後3～90か月に至るまで	生後3～12か月	3回	20日以上の間隔をあけて3回接種
				追加			初回終了後、12～18か月	1回
		MR (麻しん・風しん)	1期	生後12～24か月に至るまで			1回	1歳を過ぎたら早めに接種
2期	小学校就学前1年間				1回	幼稚園等の年長の時期がきたら早めに接種		
水痘	1回目	生後12～36か月に至るまで	生後12～15か月	2回	2回	3か月以上の間隔をあけて2回接種		
	2回目		1回目終了後6～12か月					
日本脳炎	1期初回	生後6～90か月に至るまで	3歳	2回	2回	6日以上の間隔をあけて2回接種		
	1期追加		4歳	1回	1回	1期初回(2回)終了後、6か月以上の間隔をあけて1回接種		
(自費)任意接種	※3	流行性耳下腺炎(おたふくかぜ)	1歳以上	1歳以上早期	1回	2回接種により免疫が強化される。2回目を接種する場合はMR2期と同時期を推奨		
		インフルエンザ	生後6か月～		2回	2～4週の間隔をあけて2回接種。(毎年の接種が推奨される)		

※1 定期接種のうち、BCGは保健福祉センターで、BCG以外の予防接種は委託医療機関で実施しています。

※2 *母子感染予防の対象者は対象外です。(※HBs抗原陽性の方の胎内又は産道においてB型肝炎ウイルスに感染するおそれのある方であり、抗HBs人免疫グロブリンの投与に併せて組換え沈降B型肝炎ワクチンの投与を受けたことのある方)

※3 任意接種は、日本小児科学会が推奨する予防接種スケジュールを参照し、主なものを掲載しています。

大阪市保健所・各区保健福祉センター

乳幼児期に受ける予防接種スケジュール

令和2年10月現在

ワクチン	種類	回数	乳児期												幼児期							学童期	接種間隔等	
			2	3	4	5	6	7	8	9	0	1	1	1	1	1	2	3	4	5	6			7
			か	か	か	か	か	か	か	か	か	か	か	か	か	か	か	か	か	か	か			か
BCG(結核)	注射生	1	①																				保健福祉センターで実施	
B型肝炎※1	不活化	3	① ② ③																				27日以上の間隔をあけて2回接種後、3回目は1回目の接種から139日以上の間隔をあけて接種	
ロタウイルス	ロタリックス※2	経口生	① ②																				ロタリックス(1価)は27日以上あけて2回接種 ロタテック(5価)は27日以上あけて3回接種 どちらも初回接種は出生14週6日後までに行うことを推奨	
	ロタテック※2	経口生	① ② ③																					
ヒブ※3 (インフルエンザ菌b型)	不活化	4	①②③												④								27(20)日以上の間隔をあけて3回接種後、4回目は7か月以上の間隔をあけて接種	
小児用肺炎球菌※3 (PCV13)	不活化	4	①②③												④								27日以上の間隔をあけて3回接種後、4回目は60日以上の間隔をあけ、かつ1歳以降に接種	
4種混合(DPT-IPV) [ジフテリア・百日せき・破傷風・ポリオ]	不活化	4	①②③												④								20日以上の間隔をあけて3回接種後、4回目は6か月以上の間隔をあけて接種	
4種混合又は ポリオ	3種混合(DPT) [ジフテリア・百日せき・破傷風]	不活化	①②③												④								20日以上の間隔をあけて3回接種後、4回目は6か月以上の間隔をあけて接種	
	ポリオ	不活化	①②③												④								20日以上の間隔をあけて3回接種後、4回目は6か月以上の間隔をあけて接種	
麻しん・風しん(MR)	注射生	2													①							②	1回目は1歳の時期、2回目は小学校就学前1年間(年長児)	
水痘	注射生	2													①							②	3か月以上の間隔をあけて2回接種	
日本脳炎	不活化	3													①②③								6日以上の間隔をあけて2回接種後、3回目は6か月以上の間隔をあけて接種	
任意接種	流行性耳下腺炎 (おたふくかぜ)	注射生													①							②	2回の接種により免疫がより強化されます。	
任意接種	インフルエンザ	不活化													毎年2回(10~12月頃)								2~4週の間隔をあけて2回接種	

標準的な接種年齢と接種回数

■ 接種対象年齢(公費)

■ 接種対象年齢(自費)

①~④ 接種回数

※1: B型肝炎の対象者は平成28年4月1日以後に生まれた生後1歳に至るまでの方で、*母子感染予防の対象者は対象外になります。

(*HBs抗原陽性の方の胎内又は産道においてB型肝炎ウイルスに感染する恐れのある方であり、抗HBs人グロブリンの投与に併せて組み換え沈降B型肝炎ワクチンの投与を受けたことのある方)

※2: ロタウイルスの定期接種の対象者は令和2年8月1日以降に生まれた方で、かつ令和2年10月1日以降に接種する方です。

※3: 接種開始年齢が生後2か月~7か月に至るまでの場合は4回接種となります。(生後7か月以上から接種開始した場合は接種回数は1~3回と異なります。)

大阪市保健所・各区保健福祉センター

乳幼児期に受ける予防接種スケジュール（記入用）

く
ん
ち
ゃ
ん



うまれた日 令和 年 月 日

ワクチン 	種類	回数	接種間隔等 	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	15	18	2	3	4	5	6	7
				か 月	か 月	か 月	か 月	か 月	か 月	か 月	か 月	か 月	か 月	か 月	か 月	か 月	か 月	歳	歳	歳	歳	歳
BCG（結核）	注射生	1	保健福祉センターで実施					① /														
B型肝炎※1	不活化	3	27日以上の間隔をあけて2回接種後、3回目は1回目の接種から139日以上の間隔をあけて接種		① /	② /		③ /														
ロタウイルス ロタリックス※2 ロタテック※2	経口生	2~3	ロタリックスは6週~24週未満に4週間あけて2回接種。ロタテックは6週~32週未満に、4週間あけて3回接種。どちらも初回接種は14週6日までに行うことを推奨		① /	② /																
ヒブ※3 （インフルエンザ菌b型）	不活化	4	27(20)日以上の間隔をあけて3回接種後、4回目は7か月以上の間隔をあけて接種		① /	② /	③ /							④ /								
小児用肺炎球菌※3 （PCV13）	不活化	4	27日以上の間隔をあけて3回接種後、4回目は60日以上の間隔をあけ、かつ1歳以降に接種		① /	② /	③ /							④ /								
4種混合（ジフテリア・百日せき・破傷風・ポリオ：DPT-IPV）	不活化	4	20日以上の間隔をあけて3回接種後、4回目は6か月以上の間隔をあけて接種			① /	② /	③ /								④ /						
麻しん・風しん（MR）	注射生	2	1回目は1歳の時期、2回目は小学校就学前1年間（年長児）														① /					② /
水痘（みずぼうそう）	注射生	2	3か月以上の間隔をあけて2回接種														① /		② /			
日本脳炎	不活化	3	6日以上の間隔をあけて2回接種後、3回目は6か月以上の間隔をあけて接種																① /	② /	③ /	
任意接種（自費） 流行性耳下腺炎（おたふくかぜ）	注射生	1	2回の接種により免疫がより強化されます														① /					(②) /
インフルエンザ	不活化	2	2~4週の間隔をあけて2回接種																			毎年2回（10~12月頃）

※ 標準的な接種年齢と接種回数を記載しています。

注射生ワクチンと注射生ワクチンの接種は27日以上の間隔をあけてください。（それ以外の接種は間隔に関する規定はありません）

※1：B型肝炎の対象者は平成28年4月1日以後に生まれた生後1歳に至るまでの方で、*母子感染予防の対象者は対象外になります。

（*HBs抗原陽性の方の胎内又は産道においてB型肝炎ウイルスに感染する恐れのある方であり、抗HBs人グロブリンの投与に併せて組み換え沈降B型肝炎ワクチンの投与を受けたことのある方）

※2：ロタウイルスの定期接種の対象者は令和2年8月1日以降に生まれた方で、かつ令和2年10月1日以降に接種する方です。

※3：接種開始年齢が生後2か月~7か月に至るまでの場合は4回接種となります。（生後7か月以上から接種開始した場合は接種回数は1~3回と異なります。）

令和2年10月 大阪市保健所・各区保健福祉センター

